

新型インフルエンザ・ ニュースレター@青森県

04th JANUARY 2013 Vol3 Issue01

こんにちは、青森県保健衛生課です。
多くの皆様にご覧いただき、誠にありがとうございます。
今後も引き続き、『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』を平時での新型インフルエンザ対策のほか、通常の季節性インフルエンザ対策にもご活用ください。

Inside This Issue

- I. 鳥インフルエンザA/H5N1のヒトへの感染等
- II. 新種のコロナウイルスの状況
- III. インフルエンザの発生状況・研究報告など

I. 鳥インフルエンザA/H5N1のヒトへの感染等

◆1 WHOは、2012年12月17日、インドネシア、エジプトにおける鳥インフルエンザ(H5N1)の新たな確定症例を発表。

インドネシアでの確定患者

○ この患者は、最近の患者が発生した2012年8月10日以降では初めて報告されたもので、2003年以降、同国での確定患者は192人、うち160人が死亡しています。

○ この患者は、西ジャワ州ボゴールに住む4歳の男児で、2012年11月30日に発熱を呈し入院したものの改善せず、同年12月6日にバンテン県の総合病院に搬送されたものの死亡。

○ 同国保健省によると、この患者は、発症前に自宅近くで死亡していたアヒルに曝露していた可能性があります。

○ 同国では、2012年中に9人の確定患者が報告され、全員死亡しています。

エジプトでの確定患者

○ この患者は、ディムヤート県に住む2歳の女児で、

2012年12月3日に発症、翌4日に入院しタミフルによる治療を受けましたが、回復したかどうかの情報は提供されていません。

○ 同国では、2012年中に11人の確定患者が報告され、うち5人が死亡しています。

http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/HAI_Risk_Assessment/en/index.html

◆2 米国疾病管理センター(CDC)による、2011年8月～2012年12月28日の変異型インフルエンザA/H3N2患者状況は次表のとおりです。

報告した州	年次患者数	2011年報告患者数	2012年報告患者数
ハワイ			1
イリノイ			4
インディアナ		2	138
アイオワ		3	1
メイン		2	
メリーランド			12
ミシガン			6
ミネソタ			5
オハイオ			107
ペンシルバニア		3	11
ユタ			1
ウエストバージニア		2	3
ウィスコンシン			20
合計		12	309

II. 新種のコロナウイルスの状況

WHOは、2012年12月21日、新種のコロナウイルスによる感染患者には、より軽症の患者が発生していた可能性を示唆しています。

○ ヨルダンで確認された新種のコロナウイルスによる2人の確定患者に係る最近の調査は、この確定患者を含むクラスター(感染集団)のうち数人の患者は比較的軽症であったことのほか、クラスター内でヒト-ヒト感染が起こった可能性がより高まったことを支持していると発表。

○ WHOは、2012年11月30日、同年4月にヨルダンの病

院内で発生した呼吸器感染のクラスターのうち2人の死亡患者から新種のコロナウイルス感染が遡って確認されたと発表。
○ WHOによる調査では、クラスター内の医療関係者の多くが、確定患者のような肺炎を呈しており、現段階では、クラスター内の患者は「可能性例」と考えられています。

○ WHOでは、全ての患者が肺炎を示す重要な呼吸器疾患を呈しているものの、この疾患は「可能性例」の患者において一般的に軽く、また、「可能性例」とされた1人は自宅で療養ができるほどの症状で入院はしていないとしています。

○ WHOは、新種のコロナウイルスによる確定患者とされたものは全員重症であったものの、ヨルダンで発生した「可能性例」により、臨床症状としては比較的軽症のものがあることを示すものとしています。

http://www.who.int/csr/disease/coronavirus_infections/update_20121221/en/index.html

III. インフルエンザの発生状況・研究報告など

中国のイヌで、鳥由来H3N2インフルエンザウイルス

インフルエンザH3N2ウイルスに関する初の系統的サーベイランスを中国南部のイヌにおいて実施。この結果、検出ウイルスが韓国や中国南部以外の地域のイヌやネコで分離された鳥由来のウイルスに似ていることが判明。報告は、動物が頻繁に取引される人口密度の高い地域でこのウイルスが循環すると、愛玩動物への感染リスクを高めたり、新たなウイルスの出現や公衆衛生上の問題となるような変異や遺伝子再集合を起こすとして警告しています。

<http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S156713481200370X>

ロシアの野鳥で、H15N4ウイルスの検出

ロシア・米国の合同調査チームは、1月1日、ロシア・シベリアのコガモから鳥インフルエンザH15N4ウイルスが確認されたと報告。豪州以外の地域でH15亜型ウイルスが確認されたのは初めて。

<http://jvi.asm.org/content/early/2013/01/02/JVI.02521-12.short>